

平成30年度事業報告

<概要>

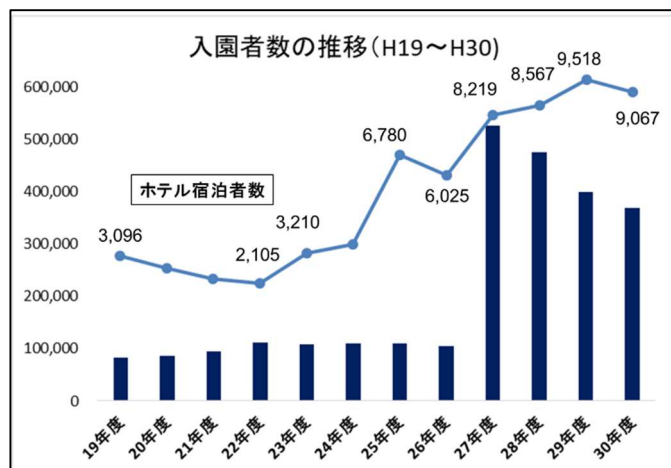
丹後王国「食のみやこ」は、丹後地域における農業や観光振興、都市農村交流の拠点施設として平成10年4月に農業公園「丹後あじわいの郷」として開園し、平成27年4月に「丹後・食の王国」プロジェクトの拠点施設 丹後王国「食のみやこ」としてリニューアルオープンした。平成30年度はリニューアル4年目として、食を通じた丹後地域の魅力の発信や丹後地域2市2町と連携した取組だけでなく、従来の農業実践学舎や海の民学舎、食人材学舎に加え新たな人材育成プログラムの実施など人材育成の取組を推進した。また、丹後王国「食のみやこ」の3つのコンセプト（①丹後の本物の食を味わう拠点、②10次産業化の拠点、③丹後観光のゲートウェイ）の具現化に向けた事業展開を行った。

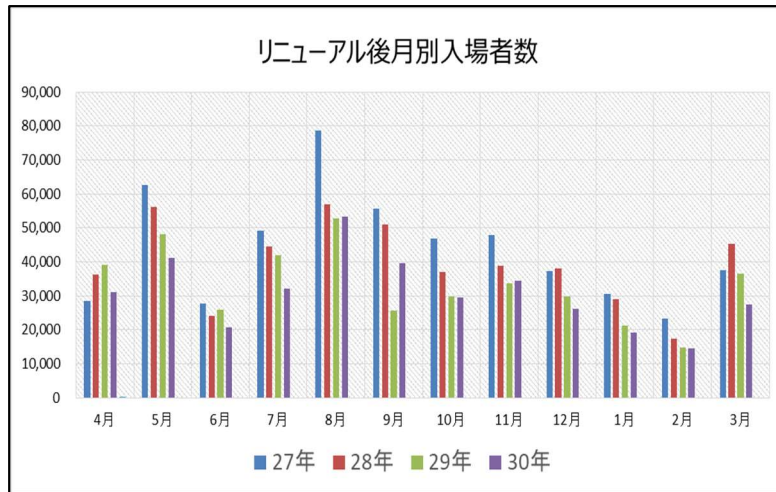
「公益目的事業：地域交流イベント等の実施により丹後地域の活性化を図る事業」については、①異業種交流セミナーの開催 ②毎月第3日曜日に地域の農産物をテーマにした月例祭や道一1グランプリ・丹後グルメフェスティバル等のイベントの開催 ③丹後の農産物の消費拡大や都市との交流を目的としたワインオーナー事業を実施した。

具体的には、コンセプトに上げた後の本物の食を味わう拠点そして10次産業化の拠点施設として、老朽化施設の整備・更新を積極的に行うとともに、農漁業の担い手育成や農業ビジネスの推進のための人材育成を行った。また、丹後観光のゲートウェイとして、海の京都 DMO と連携し、丹後地域の総合案内・情報発信に加え京都市内でもプロモーション活動を実施した。さらに、丹後地域へのインバウンド推進として「Savor JAPAN（農泊推進事業）」の人材育成拠点施設として「農泊人材学舎」の実施や研修生の受け入れを行った。

平成30年度の入園者数は、毎週火曜日を店休日としたことによる営業日数の減少や7月の台風などの天候不順の影響で約36万9千人（対前年 92.5%）となった。ただ、8月以降4か月間は連続して昨年度実績を上回るなど、昨年度実績を確保した。

ホテルの宿泊者数は過去最高であった昨年の9,518人に対し、周辺の大型工事の終了に伴うビジネス客の減少などで9,067人となったが、過去2番目の実績を確保した。また、営業面においては、11月以降のカニ料理などの海鮮料理を目的とした観光宿泊客の増加により、客単価が増加し昨年度を上回る売上となった。





＜実施事業＞

I 地域交流イベント等の実施により丹後地域の活性化を図る事業

以下のとおり、異業種交流の推進、丹後王国「食のみやこ」月例祭及び「京都・丹後 食の王国」関連イベントの開催、ワインオーナー事業を実施して丹後地域の活性化を図った。

1 異業種交流セミナー等の推進

- 海の京都 DMO を中核組織として、行政や観光・商業・運輸・金融など多様な業種の団体とインバウンド受け入れ強化のための農泊推進協議会を立ち上げ、丹後・福知山において人材育成セミナーを開催した。（1月～3月）
- 丹後王国「食のみやこ」協力会会員を対象にレストラン「グラシア」において試食会を開催し、異業種間の交流を実施した。（6月）
- 丹後地域の多種・多様な団体・企業が参加する体験型の交流イベント「mix ひとびと Tango」に参画するとともに、インフォメーションセンターをイベントの総合案内所の一つとして丹後地域全体の情報発信、観光案内を行った。（5月）
- 丹後王国「食のみやこ」協力会会員等の協力により、現役大学生による丹後王国「食のみやこ」での就業体験（インターンシップ）を実施し、その成果を、丹後王国「食のみやこ」の集客UPや丹後地域への移住希望者向けへの提案として報告会を実施した。（8月）
- 「京丹後商工祭」の開催に協賛するとともに、京都府と連携し、同日開催の「300年を紡ぐ絹が織りなすちりめん回廊」日本遺産認定記念シンポジウムを開催し、全国へ丹後特産品や観光情報を発信した。（10/27）
- 丹後王国「食のみやこ」協力会会員等による運営会議を月一回開催し、月例祭の企画・運営について協議するとともに、協力会への参加希望団体の審査、今後のあり方等について検討、意見交換をした。
- 農業分野と福祉分野の連携事業「ノウフクマルシェ」において農業体験や農産加工品販売を6月、9月、11月、3月の4回実施した。
- 丹後地域の病院関係者や看護協会主催で、「看護の日」の啓発活動としてAED体験、簡易健康診断を実施し、医療分野との交流を行った。

2 丹後王国「食のみやこ」月例祭及び「京都・丹後食の王国」イベントの開催

以下のとおり、海の京都DMOをはじめとする観光団体等との広域連携事業、地域の教育機関との連携による利用拡大、京都「丹後・食の王国」構想の推進等に努めた。

(1) 広域連携事業の実施（観光団体等との連携）

イベント名	実施日	集客数等
協力会月例祭	4～3月 第3日曜日	27,513人
三周年感謝祭	4月15日	1,361人
NISSIN 丹後ラリー2018	4月29日	4,912人
HONDA ドリームカフェ2018	4月30日	4,070人
わくわく鉄道フェスタ	5月3日	4,420人
やさか納涼祭	7月21日	7,117人
網野高校お化け屋敷	8月11、12日	6,940人
一夜限りのビアガーデン	8月25日	1,854人
丹後半島ラリー2018	8月26日	3,424人
丹後グルメフェスティバル	9月16、17日	5,767人
道-1 グランプリ	9月23、24日	20,656人
京丹後商工祭	10月27、28日	7,160人
京丹後警察「安全・安心スタート式」	11月24日	3,040人
カウントダウン2019	12月31日	2,469人
高校生レストラン	1月20日	1,235人
サン・セバスチャン視察研修報告	3月13日	93人
まぜこぜ@タンゴ	3月31日	1,382人

(2) 各観光施設、海の京都DMO、観光協議会（情報発信、誘客）等との連携

○丹後七姫プロモーション事業

・京都駅前広場にて丹後七姫劇団員とともに丹後地域への誘客活動

○海の京都DMO主催イベントに出演、出店

(3) 教育機関との連携による利用拡大

○丹後地域の幼稚園、保育所等での遠足等で利用

○子供会、親子行事の利用

○丹後地域の高校再編に伴う新設高校（来年開校）との連携強化に向けた協議を開始

(4) 京都「丹後・食の王国構想」の推進（地元産物の販売促進と活用）

○地元農業者との連携

・漁協によるズワイガニの展示

・京丹後茶 新型ペットボトル発表会

○フルーツ祭

旬のフルーツの試食・販売会

○ぼたもち祭

丹後地域の郷土食である「ぼた餅」のPR及び販売会を実施

3 ワインオーナー事業

園内のブドウ園でワイン用ブドウ（セーベル種）を栽培、丹後王国「食のみやこ」ワインを製造（天橋立ワイン株式会社で醸造）し、募集したワインオーナーのほか、京都市で開催の農林水産フェスティバルなどイベントへの出店で、丹後の農林水産物、丹後王国「食のみやこ」自家製品とともに日本産ワインとして広くPRを行った。

○平成30年度オーナー：153口人（29171口）

- ・会費9,000円（ワイン4本）、会費5,000円（ワイン2本）
- ・ワイン4本（2本）と特産品3種（旬の果物・野菜セット、新米 丹後コシヒカリ、ソーセージ3種セット）の中から一つを選んでいただいて発送
- ・会員証を発行し、園内の施設での割引など、ワインオーナー特典を設けるとともに、12月の月例祭（12/16）に会員を招待し、ワイン引渡会（オーナー交換会）を開催。参加会員にはオーナー優待チケットを発行することで、丹後の食材を楽しんでいただいた。

○農林水産フェスティバル（11/24～11/25）

- ・丹後王国特産品（クラフトビール、ソーセージ、ワイン）PR，販売
- ・丹後王国「食のみやこ」リニューアルオープン及び丹後地域のPR

II その他の主要な事業

1 公園施設管理及び公園

京都府、京丹後市から借り受けた丹後王国「食のみやこ」用地及び施設等の管理を行い、（株）丹後王国へ運營業務を委託した。

（1）公園施設の管理業務

○施設修繕事業

- ・メインゲート駐車場アスファルト舗装修繕（陥没3箇所再舗装）
- ・高圧ケーブル配管取替工事
- ・排煙装置点検・修理（情報交流センター内排煙装置）
- ・ホテル丹後王国内エレベーター配管修繕（油圧配管老朽化によるオイル漏れ）
- ・メイン駐車場照明ポール修繕（安定機取替）
- ・昆虫館内電気室浸水対策（ハンドホール遮水工事）
- ・園内照明ポール交換（レストラン前照明ポール）
- ・台風被害応急及び復旧工事（七姫殿煙突）

○丹後王国「食のみやこ」設備等強化委託業務

- ・製品用セパレート型プレバジェット冷蔵庫（ソーセージ工房）2基
- ・空調設備更新（西利販売所）
- ・空調設備更新（ソーセージ工房）
- ・厨房設備セパレート型プレバジェット冷蔵庫（安寿ベーカリー）
- ・厨房設備セパレート型プレバジェット冷凍庫（安寿ベーカリー）
- ・浄化槽（スクリーン交換等）修繕工事（合併浄化槽）

○丹後王国「食のみやこ」木質化事業委託業務

- ・羊広場及び放牧場用木柵交換
- ・木製ベンチ・机導入（トングキッチン）

(2) 公園施設運營業務委託

業務委託先 (株)丹後王国 代表取締役 伊藤真人

2 自然環境学習、農林漁業体験の企画と実施、

(1) 園内の農園等において、果樹や野菜（ブルーベリー、サツマイモ等）の収穫や自然体験など、「農業体験」活動等農林水産業体験活動の推進

- ・ブルーベリー収穫体験（556人）
- ・サツマイモ収穫体験（185人）
- ・レタス・九条ネギ苗植え付体験（83人）
- ・キノコ（シイタケ）菌打ち体験（20人）

実績 844人



(2) 食を楽しみながら学ぶ機会の提供

- ・手作り体験教室（成形パン、アイスクリーム作り等）（2,716人）
- ・西利漬物教室（44人）
- ・ばら寿司調理体験（35人）
- ・食人材学舎実習研修（92人）
- ・農泊人材学舎実習（29人）
- ・おせち作り教室（4人）
- ・高校生レストラン（29人）

実績 2,950人



3 10次産業化人材の育成

「京都府海の京都食人材学舎」において、丹後地域の生産者による地域食材を使った調理・加工・販売等の6次産業化のアウトプットとして、地域と連携した新たな加工品やメニューの開発を目的とした研修を実施

- | | |
|------------------------------|-----|
| ・農産加工研修（11月26日～2月20日：5回） | 73人 |
| ・水産加工研修（1月23日～1月31日：3回） | 17人 |
| ・農山漁村起業化研修（10月24日～11月14日：3回） | 30人 |
| ・高校生レストラン運営研修（1月20日） | 29人 |

4 広報宣伝

- HP、府・市町の広報誌での広報、新聞社、FM京都等報道機関への情報提供
- 新聞紙上、イベントプログラムへの掲載広告
- 丹後「道の駅」連携（6駅）による情報発信

<会議> 理事会等の開催及び議決事項

日 時	理事会別	議 決 等 事 項
平成30年 6月13日	第1回 理事会	○平成29年度事業報告について ○平成29年度収支決算について ○第1回評議員会を招集することについて
平成30年 6月28日	第1回 評議員会	○平成29年度収支決算について ○評議員の解任及び選任について 報告 平成29年度事業報告について 報告 公益目的支出計画実施報告書について 報告 平成30年度事業計画及び予算について
平成30年 7月12日	第2回 理事会	○監事選任を評議員会の議案とすることについて ○評議員選任を評議員会の議案とすることについて ○第2回評議員会を開催することについて
平成30年 8月8日	第2回 評議員会	○監事の選任について ○評議員の選任について
平成31年 3月18日	第3回 理事会	○平成30年度収支予算の補正について ○公益目的支出計画における実施事業の変更について ○平成31年度事業計画について ○平成31年度収支予算について